

210322 東北、関東の長期データと発生したおもな地震の関連について

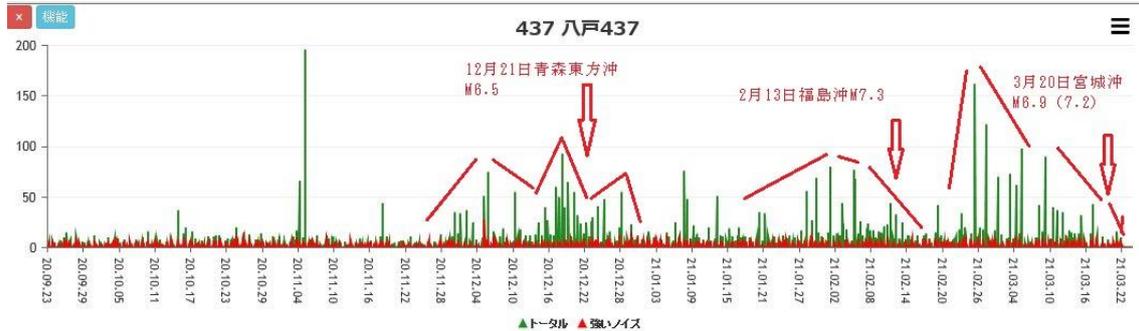
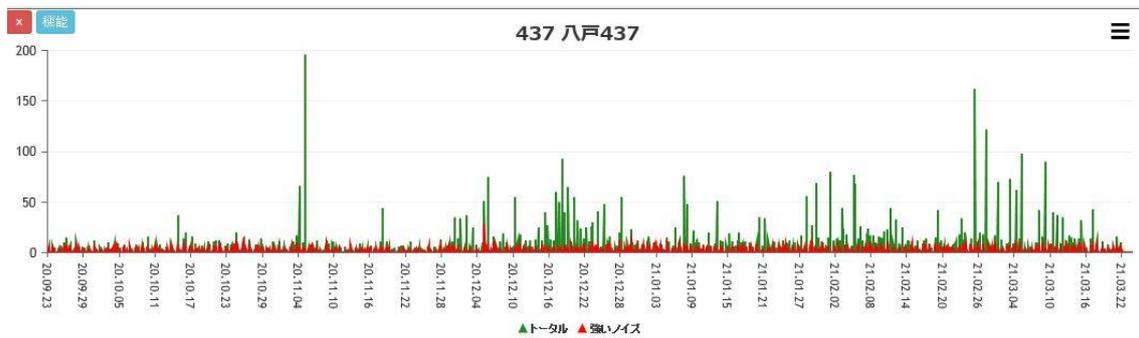
2月13日の福島沖 M7.3、や3月20日の宮城沖 M6.9 など 東北地方で M7 クラスの大地震が続いていますが 東北と関東の逆ラジオの観測点の 180 日~360 日の長期データと 主な地震の発生日との関連をグラフにしました。

いくつかの観測点では 大きなデータが続いて、減衰、収束した時点で 地震が発生していますが まだデータが出ている途中で収束していない段階で地震が発生しているケースも見られます。以下に個々の観測点と主な地震の関連を記します。

東北地方のデータ >

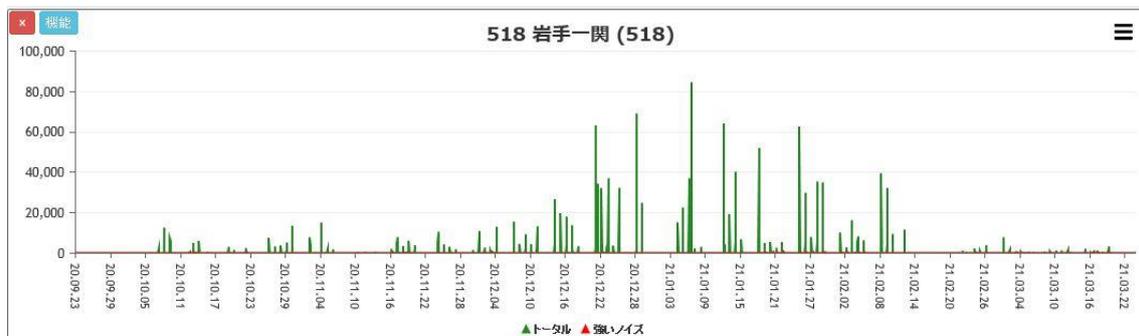
青森 八戸観測点 180 日間データ

昨年 12 月の青森東方沖 M6.5 や 2 月 13 日の福島沖 M7.3、3 月 20 日の宮城沖 M6.9 はいずれもデータ量は小さいが山の形が減衰してきて発震している。



岩手 一関観測点 180 日間データ

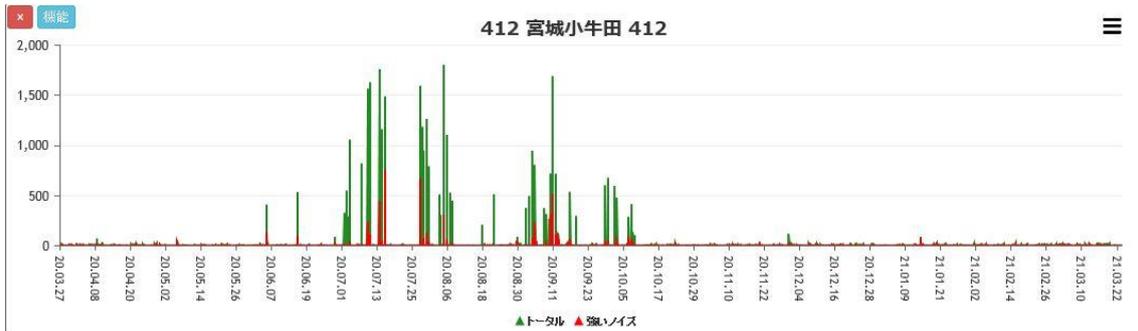
2月13日の福島沖 M7.3 については 大きな山が減衰してきて発震している。





宮城 小牛田観測点 360 日間データ

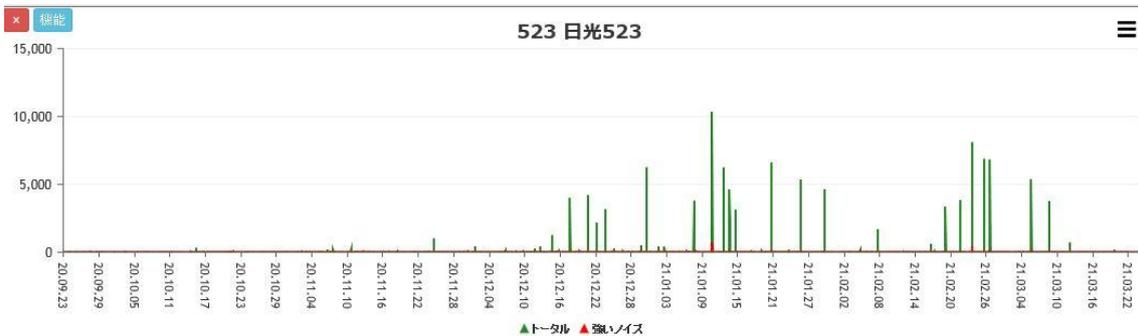
小牛田観測点については 昨年 9 月、11 月の東北の地震の前兆は取れているがその後の福島沖 M7.3 や宮城沖 M6.9 には反応していない。



関東地方のデータ >

日光観測点 180 日間データ

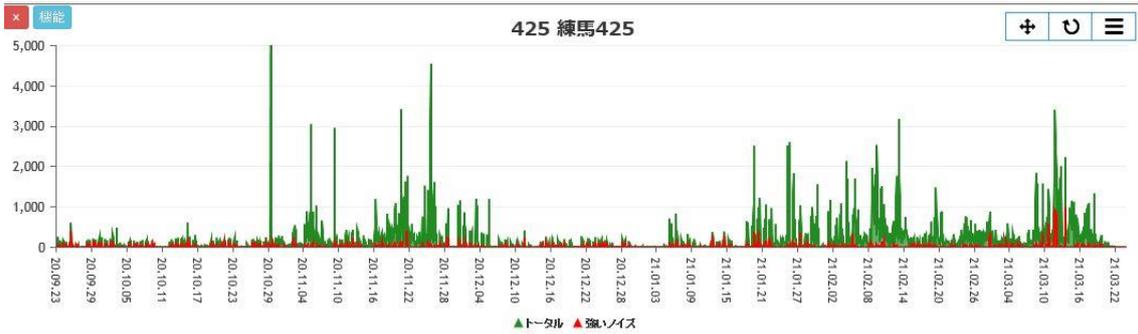
日光観測点は一見データが散発的であるが 昨年 12 月の茨城北部 M5.1 のほか、2 月 13 日の福島沖 M7.3、3 月 20 日の宮城沖 M6.9 にも きれいに山の形が出ていて前兆ははっきり見られる。





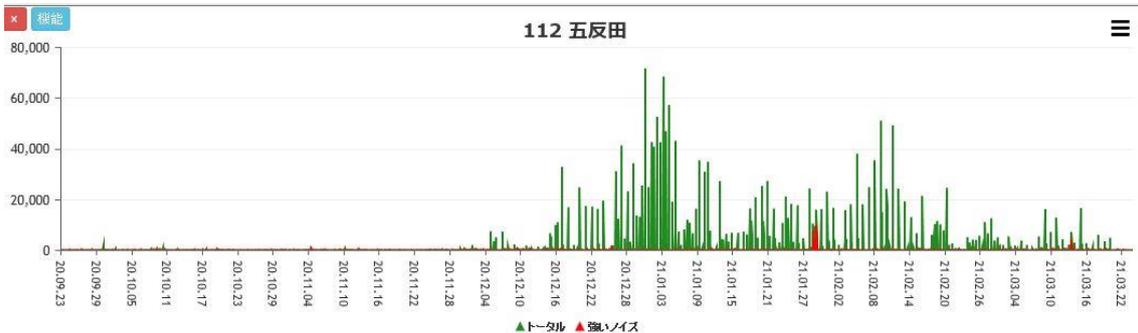
~~~~~  
 練馬観測点 180日間データ

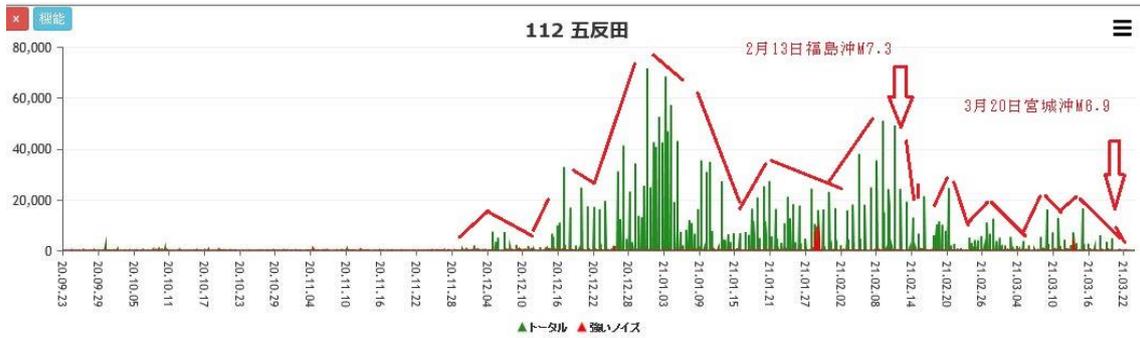
3月20日の宮城沖M6.9の地震は関連しているように見えるが2月13日の福島沖M7.3はデータが減衰する前に来ており、データとの関連性ははっきりしない。



五反田観測点 180日間データ

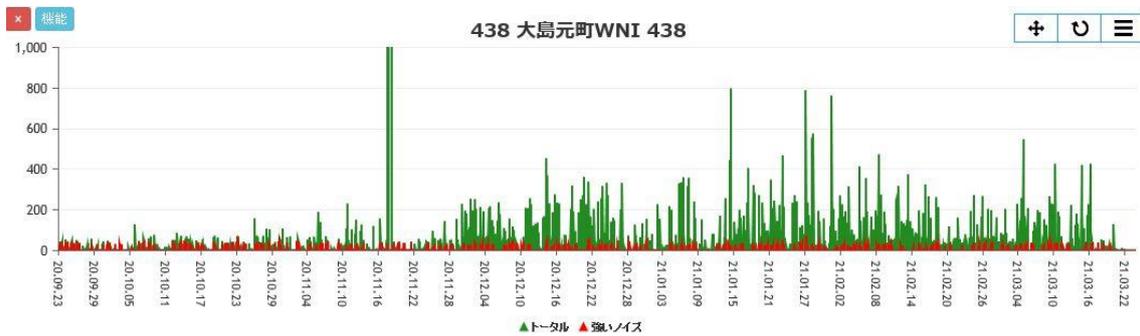
練馬観測点と同様に3月20日の宮城沖M6.9の地震は関連しているように見えるが2月13日の福島沖M7.3はデータが減衰する前に来ており、データとの関連性ははっきりしない。これら練馬観測点と五反田観測点のデータは東北以外の前兆を取っている可能性がある。





### 大島元町観測点 180日間データ

上記 練馬観測点、五反田観測点と同様に3月20日の宮城沖M6.9の地震は関連しているように見えるが2月13日の福島沖M7.3はデータが減衰する前に来ており、データとの関連性ははっきりしない。これら練馬観測点と五反田観測点、大島観測点のデータは東北以外の前兆を取っている可能性がある。



以上のように 練馬観測点と五反田観測点、大島観測点のデータは 関東の大型地震の前兆をとらえている可能性があり注意を要すると考えられます。